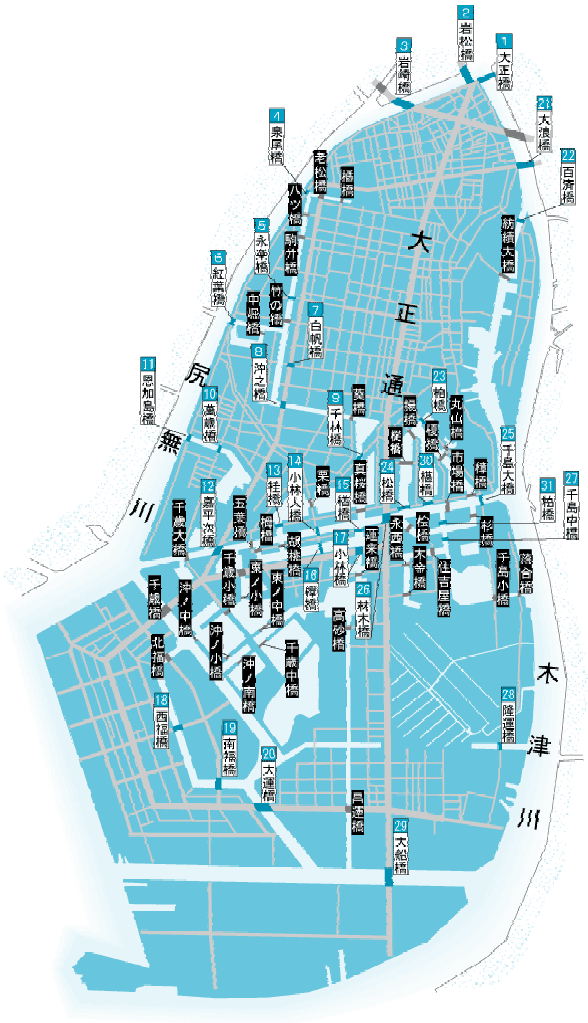
33	「北恩加島」パネル[北村公園内]	北村 2-16

恩加島新田は、東成郡千林村(現旭区)の岡島嘉平次(おかじまかへいじ)が、木津川と尻無川の間の浅州の干拓に着目し、文政 12 年(1829 年)に検地を受けました。名称は当時の代官岸本武太夫の命で、「岡島」を「恩加島」と換用したものです。

恩加島新田のうち北側が「北恩加島新田」、南側が「南恩加島新田」となりました。

北村公園の「北村」は、泉尾新田の開発者「北村六右衛門」に由来しています。



《大正区の思い出の橋》

大正区の区域は新田開発により成り立っているため、運河や用水路がいたるところに張り巡らされていましたが、区画整理事業などで、そのほとんどが消滅しました。区内中央部の運河周辺に特に多かったので、その昔の橋の名前だけでも残したいと右の図にその一部を紹介します